

製品名: HIRA ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86418**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:50-1:200, FC 1:100-1:1000, IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:112 kDa; Observed MW:112 kDa

抗原情報

遺伝子名	HIRA
別名	TUP1; DGCR1; TUPLE1
遺伝子ID	7290
SwissProt ID	P54198
免疫原	ヒト HIRA の合成ペプチド

背景

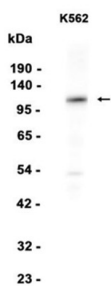
この遺伝子は、変異ヒストン H3.3 をヌクレオソームに優先的に配置させるヒストンシャペロンをコードしています。酵母、ハエ、植

物におけるこの遺伝子の相同遺伝子は、転写サイレントヘテロクロマチンの形成に不可欠です。この遺伝子は、老化関連ヘテロクロマチンフォーカスの形成に重要な役割を果たします。これらのフォーカスは、老化細胞で起こる不可逆的な細胞周期変化を媒介していると考えられます。ディジョージ症候群などの一部の半機能不全症候群では、この遺伝子が主要な候補遺伝子と考えられており、この遺伝子の産生不足は正常な胚発生を阻害する可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

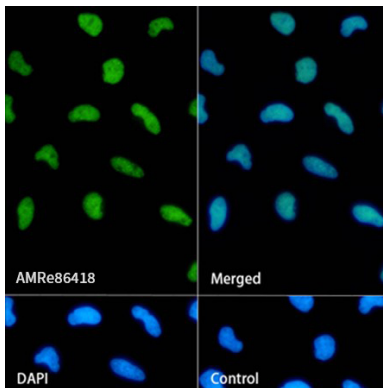
研究分野

-

画像データ



HIRA ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86418 で HIRA を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。